

248) 海に沈んだ恋人よ

愛し合ってた夏が過ぎ 嵐の風が吹いてゆく

見わたすかぎり砂浜は 波で洗われ花が散る

逆風<sup>さかかぜ</sup>よ吹きまくれ 思い出よよみがえれ

荒波よ我に來い 恋人よ地におりよ

まっ赤に咲いて散る花よ 生命<sup>いのち</sup>を終えて逝<sup>ゆ</sup>くものよ

永遠<sup>とわ</sup>の別れの悲しみを 届けておくれ天国へ

逆風よ吹きまくれ 思い出よよみがえれ

荒波よ我に來い 恋人よ地におりよ

波の合間に2羽3羽 ただよう鷗舞い上がれ

空<sup>かなた</sup>の彼方の新しい 生命<sup>いのち</sup>もとめて舞い上がれ

逆風よ吹きまくれ 思い出よよみがえれ

荒波よ我に來い 恋人よ地におりよ

海に沈んだ恋人よ 人魚になった恋人よ

海の底から浮き上がり 戻っておいでこの浜へ

逆風よ吹きまくれ 思い出よよみがえれ

荒波よ我に來い 恋人よ地におりよ